

カリキュラム Curriculum	人文学研究科MC		ナンバリング Numbering	LI5024J
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
1126	意味論研究 a <Studies in Semantics Ib>			講義
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)	開講期 Semester	開講時間帯 Day and time	
言語学	大島 義和(OSHIMA Yoshikazu)	前期	集中：限	
講義題目 Title	意味論研究 a			
単位 Credit	2			
備考 Others	8月か9月に集中講義で			
履修条件 注意事項 Requirements for registration	特になし。			
授業の目的 Purpose	<p>本講義では、理論言語学の下位分野としての意味論の基礎を学ぶ。入門的なテキストの講読、練習問題への取り組み、および参加者間の討議を通じて、意味論の方法論、発想、基本的な概念を理解することを目的とする。</p> <p>In this course, students will acquire the rudiments of semantics as a sub-discipline of theoretical linguistics. Through reading the introductory textbook, working on exercises, and participating in class discussions, students will learn the basic methodology and concepts.</p>			
授業の内容 授業の方法 Content	<p>授業は、原則的にテキストの章立てに沿って進める。述語、名詞句、修飾句、量化表現 ("some", "all" など) といった基本的な表現の意味を客観的 (論理的) に記述するにはどうしたらよいか、また、個別の表現の意味から文のような複雑な表現の意味が導出される過程はどのようなものか、という基本的な問いを取りあげ、その後、時制、モダリティ、談話的意味といったより複雑な問題を概観する。</p> <p>以下の順で意味論における主要な概念を取りあげ、解説する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 意味論の目的: 意味とは何か 2. 意味の構成性 3. 述語の意味 4. 修飾句の意味 5. 名詞句の指示性 6. 量化 7. 外延と内包 8. 時制・相・モダリティ 9. 命題態度 10. 意味論と語用論 <p>授業に先立って指定された文献を購読し、授業時には文献の内容に基づいた討議に参加することが求められる。</p>			
教科書 テキスト Textbooks	Portner, Paul (2005) What is Meaning?: Fundamentals of Formal Semantics, Blackwell.			
参考書 References	Cruse, Alan (2011) Meaning in Language: An Introduction to Semantics and Pragmatics, 3rd edition. Oxford University Press. その他の参考文献については授業時に指示する。			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	事前に指定された場所を講読する。また、論述形式の課題に取り組む。			

成績評価の方法と基準 Evaluation	提出課題の内容を成績評価の70%に換算する。また、授業時の討議への参加を成績評価の30%に換算する。
連絡方法 Contact information	メールアドレス: oshima.yoshikazu@b.mbox-nagoya-u.ac.jp 適宜面談に応じる (要事前予約)。